



▲村外で農業を再開した方も経験を話しました

村農業委員会(本庁)
☎0244-42-1629

農業に関するお問い合わせ先
業にかける思いを話しました。
るために日々がんばりたい」と農
業にかけられる思いを話しました。
の復興に寄与できる人材にな
るために日々がんばりたい」と農
業にかけられる思いを話しました。
野義樹さん(比叢)は、「自分の親
世代が農業への熱い思いを語っ
ていることに感動している。今は、
避難先で営農を続けているが、
避難先で営農を続けているが、



▲約50人の参加者が集い、思いを語りました

農業復活への道 語り合う

1月28日、農業に関わる村民
などが伊達市内に集まり、村の
農業の現状と今後の課題につ
いて意見交換会が開催されまし
た。これは、飯館村農業委員会が農
業者同士のつながりと農業復興
を目指し、震災後も継続的に開
催しているものです。
会では、農政係から、村内で
営農再開する農家に対する支援
事業の説明があった他、避難市
町村の営農再開に向けた取り組
みについて、万福裕造さん(農研
機構)の講演がありました。参加
者からは、「農作物の販路確保」
や「鳥獣被害対策」などについて、
質問が寄せられました。



▲村長から委嘱状を手渡される多田委員長

委員紹介(敬称略)
委員長 多田順一郎
(NPO法人放射線安全フォーラム理事)
副委員長 遠藤 和人
(国立環境研究所主任研究員)
委員
宮崎 真
(福島医大放射線健康管理学講座助手)
万福 裕造(農研機構)
大越 憲一(村行政区長会長)



▲専門的な知見から村内除染の検証を行います

除染効果 検証開始

2月8日、村で行われた除染
の効果などを、放射線の専門家
ら有識者5人が評価・検証・提案
を行う「飯館村除染検証委員会
(多田順一郎委員長)」が発足しま
した。
会の冒頭、菅野村長が、「除染
が終わっても完全に元の状態に
戻っているわけではない。村民の
放射線に関する不安解消に向け
て、国に求めるべきことや村が取
り組むべき事業を提案してほし
い」とあいさつを述べました。そ
の後、環境省から村の除染方法
と経緯について説明があり、検証
を開始しました。会では、5月
頃までに村へ報告書を提出する
予定です。

小6国語 算数、中3数学 平均超え 「全国学力・学習状況調査」結果

今年度の小学6年生と中学3年生を対象とした「全国学力・学習状況調査」の結果をお知らせします。
各分野の正答率及び全国を100とした場合の標準偏差の比較を見ると、小学6年生では国語A、算数A、算数Bで全国平均を上回りました。また中学3年生では、国語A及び国語Bについては、全国平均・県平均をやや下回りましたが、数学A・数学Bについては、県平均を上回りました。

平成28年度全国学力・学習状況調査(全国平均を100とした時の比較)

		正答率			標準偏差	
		全国	福島県	飯館村	福島県	飯館村
小6	国語A	72.9	73.3	76.5	100	102
	国語B	57.8	56.6	56.9	100	100
	算数A	77.6	77.2	79.7	100	101
	算数B	47.2	46.2	49.0	99	101
中3	国語A	75.6	75.5	75.3	100	99
	国語B	66.5	65.0	64.2	100	99
	数学A	62.2	59.0	60.9	98	99
	数学B	44.1	41.2	41.7	99	99



今、学校では個人の学習時間をいかに確保するか、自分から学習に向かう習慣をどう身につけるかを課題としています。同時に行われた学習状況調査では、小学6年生で「テレビやDVDを見る時間」が長いことが分かった反面、昨年まで懸念されていた「2時間以上テレビゲームをする」と答えた人数は小学6年生、中学3年生ともに減少しました。

このほか「普段、一日にどのくらいの時間、携帯電話やスマホで通話メール、インターネットをしますか」と尋ねた質問では、2時間以上と答えた小学6年生が9.4%でしたが、中学3年生では6.3%となり学校としてメディアコントロールに取り組んだ成果が見える結果となりました。ご家庭のご協力に感謝いたします。

質問 月～金曜日、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)

回答	4時間以上	3時間	2時間	1時間	30分以上	30分より少ない
小学6年生	3.1%	0%	6.3%	12.5%	3.1%	31.3%
中学3年生	0%	0%	6.3%	34.4%	18.8%	21.9%

今後も村では、「メディア・コントロール運動」を進め、子どもたちをメディア依存症から守るための取り組みを行っていきます。家庭でも子どもたちにスマホやタブレットなどを与えっぱなしにせず、ルールを決めて使用するようにならせます。

村の「メディア・コントロール運動」

- 幼稚園では、「メディアに子守をさせない」
- 小学校では、「メディア本体・パスワードの親による徹底管理」
- 中学校では、「親の意思と判断によるメディア・コントロール」

